

令和5年第2回木津川市議会定例会（6月12日）

代表質問通告書

1 新風コスモスの会 森本 隆	
質問事項： ICTを活用して教育環境ナンバーワンを目指せ	
質問 要 旨	<p>4月23日の市長選挙において、市の2代目谷口雄一市長が誕生し、市の第2ステージが始まりました。</p> <p>市長の所信表明にて、今後の市政運営の考え方が示されました。市長の1つ目のビジョンである「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」の『子育て支援・教育環境の充実』について、以下内容を問います。</p> <p>(1) 市は、今まで「子育て支援ナンバーワン」をスローガンに子育て政策を進めてきた。現状の子育て政策と今後の取組を問う。</p> <p>(2) 「共働き世帯の方も安心して働くことができる環境づくりを推進する」とあるが、現状の課題認識と取組み方針を問う。</p> <p>(3) 「教育環境の充実」について、教育環境の現状の取り組みと今後の取組み方針を問う。</p>
質問事項： 地域コミュニティの健全な発展を支援せよ	
質問 要 旨	<p>人生100年時代といわれるとおり、我が国の平均寿命は年々伸びています。</p> <p>先日、全国の市町村別の平均寿命が発表されました。全国の平均寿命は、男性81.5歳、女性87.6歳ですが、その中で木津川市は、全国1887市区町村の中で、男性の平均寿命が全国で上位5位の83.3歳との発表がありました。</p> <p>そこで、市長の2つ目のビジョンである「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」の『すべての世代が安心して健やかに暮らせるまちづくり』について、以下内容を問います。</p> <p>(1) 市の男性の平均寿命が全国5位になった理由をどう分析しているのか。</p> <p>(2) 高齢者施策として、様々な取組みを進めているが、主な取組みと今後の取組み方針は。</p> <p>(3) 地域コミュニティは、地域住民の親睦と交流を通じて、防災防犯など安心・安全な地域づくりの大切な役割を担っていただいている。主体的な地域活動を支援するためには、活動の場の提供と、活動費の助成が必要と思うが、どう取り組むのか。</p>
質問事項： ICTを活用して持続可能な運営体制を構築せよ	
質問 要 旨	<p>市長の所信表明の「持続可能な財政基盤の確保」の取組みについては、今後の木津川市を担ってくれる子や孫の世代に健全財政を引き継ぐために、令和4年度に策定した「第4次木津川市行財政改革大綱」と「公共施設等総合管理計画」を着実に実行することが重要だと考える。</p> <p>このような考えのもと、以下の取組みを問います。</p> <p>(1) 公共施設等総合管理計画の具体策である、「個別施設計画」の進捗状況と課題は。</p> <p>(2) 市のスマート化の取組みの進捗と課題は。</p> <p>(3) 市民ファーストで書かない窓口などを進めてきた。また、今後は人口減少により職員採用も厳しくなる。 市民ファーストと業務効率化の両立に向けたICT推進計画を策定する考えはあるのか。</p> <p>(4) 市政運営の事務効率化を進めるために「チャットGPT」の活用は考えているのか。</p>

2 自民党木津川 倉 克伊	
質問事項： 所信表明から 子育て支援策について問う	
質問 要 旨	<p>合併から16年経過したが、合併当時、新市の市政スタートは大変難しいものがあったと思いますが、やらなければならない事業が山積した中で、河井前市長のもと、均衡あるまちづくりに向け、一定の成果があったと評価しています。そのうえで、今後は、谷口市長のもとで、木津川市の第2段目のスタートが始まることとなります。</p> <p>そこで、所信表明の中から、子育て支援策についてお聞きをします。市長が掲げる「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」というビジョンが目に見え込んできました。</p> <p>我が国の人口減少は大きな問題であり、市としても、第一に取り掛からなければならない課題であります。本市は、合併から16年間で、人口は約13,500人増えましたが、15歳から64歳までの生産年齢人口は、約1,400人の増加にとどまる一方で65歳以上の高齢人口は、約9,000人増加しています。また、今後、本市も人口減少の方向に向かうと推測されます。</p> <p>この様な状況下で、市長のお考えをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市長が考える子育て支援施策に対する基本的な方針は。 (2) 具体的な子育て支援施策とは。 (3) どのようなスケジュールで実現していくのか。
質問事項： 所信表明から 気候変動対策や甚大化する災害に強いまちづくりに向けて問う	
質問 要 旨	<p>昨今の地球の異常気象にも影響を及ぼしている二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策実行計画を策定し、脱炭素社会の実現に向け取り組んでいかなければ、甚大化する災害に対応できないと考えます。また、市においても、市民協働のもと循環型社会を構築し、持続可能なまちづくりに取り組まなければなりません。そこで具体的な内容についてお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市長の、気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言に対する考えは。 (2) 令和3年5月に策定された木津川市第2次環境基本計画や、現在策定中の地球温暖化対策実行計画があるが、市の再生可能エネルギーの普及や省エネに取り組む考えは。 (3) 特に、災害対応も見据えて、各家庭の蓄電池の普及に対する考えは。 (4) 現在、事業者が山城町神童子地域で進めている太陽光発電設備の計画について、市における条例上の見解と、市長のお考えは。
質問事項： 所信表明から 城陽井手木津川バイパスとその周辺整備について問う	
質問 要 旨	<p>城陽井手木津川バイパスの木津川市域の地籍測量が山城町北側から始まって3年が経ち、今年度で平尾・神童子地域まで終わる予定と聞く。しかしながら、工事着手の進捗状況がまだ見えてこない。</p> <p>また、府道枚方山城線の現在の状況も未定である。市内の今後のまちづくりのスケジュールにも大きく影響するものと考えます。</p> <p>そこで、以下のことをお聞きします。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 現在の測量の進捗は予定通りなのか。また、国の測量も随時着手されるのか。 (2) 詳細な地元説明はいつ頃なのか。また、本工事着手はいつごろの予定か。わかる範囲の工程を説明してほしい。 (3) バイパスは、今後の市の南北軸としての基幹道路と考える。更なるまちづくりにどのように活かしていくのか。 (4) このバイパスは、水害に影響されない地域を通過する。水害時の避難所など地域の安心安全のために、周辺に施設等の整備を検討してはどうか。 (5) 府道枚方山城線について、府とはどのような協議をしているのか。調査費が計上されたと認識しているが、その着手は。

質問事項： 所信表明の具体的な取組みを問う

質
問
要
旨

市長より所信表明が示され市政運営に対する所信が明らかにされました。
 そこで、2つのビジョンに向かって推進し、多くの皆様が「木津川に住みたい。住み続けたい。住んでよかった。」と実感いただける魅力あるまちづくりに取り組み、今後の4年間で市民と約束された5つのアクションプランの具体策についてお尋ねします。

(1) 子育て支援・教育環境の充実について

① 待機児童ゼロ、児童クラブ待機ゼロの推進に向け、現状と取組み内容について。

② いじめや不登校、虐待や貧困等により困難な状況にある子ども、若者たちへの支援に向けた体制づくりについて。

③ 給食費の段階的無償化及び18歳までの医療費の軽減を実施する考えは。

(2) すべての世代が安心して暮らせる健やかなまちづくりについて

① 地域活動への支援を推進し、地域社会の活性化に向けた現状と目指す地域づくりについての取組み内容は。

② ゴミ減量化や食品ロス削減など環境に配慮した取組み内容は。

(3) 災害に強い安全なまちづくりについて

① 「市民」と「財産」を守るため、内水対策事業が実施（令和5年度小川内水対策として、木津合同樋門ポンプの増設）されるが、来年度以降の樋門改修事業は。

② 地域に暮らす皆様が互いに力を合わせ助け合う「共助」のため、防災士資格を有する地域の防災リーダー養成について、防災士の現状と養成する取組みは。

(4) 持続可能な財政基盤の確保について

① 公共施設等総合管理計画の4年間の実施内容を伺う。

② 行政事務や窓口事務のスマート化を目指した取組みにより、市民サービスの向上はもちろん、職員削減になるのか。

③ 自主財源を確保するため、立地企業等過去の状況と今後の見通しについて伺う。

(5) 住み続けたいと思える活力あるまちづくりについて

① 農業の持続的な発展を目指し、農産品ブランドが認知され、地産地消される取組みの進め方について伺う。

② 都市基盤整備である城陽井手木津川バイパスの進捗状況と木津川橋（北側）付近において計画施設の内容と実施時期について伺う。

③ JR奈良線の全線複線化の見通しは。

質問事項： 均衡のとれたまちづくりを

質
問
要
旨

平成19年（2007年）に、木津町、加茂町、山城町の合併により誕生して17年目を迎えましたが、このたびの選挙において市民からは「均衡のとれたまちづくり」を願う切実な声が市長に届いているとのことでもあります。
 私も選挙において届いております。
 そこでお尋ねします。

(1) コミュニティバスの均衡ある再編について
 平成31年3月定例会において「山城町域のバス路線を祝園駅まで延伸する」請願項目が採択されました。また、市民の中には加茂地域から木津駅までのバス路線を望む声を聞きます。その中で、市内均衡あるバス路線の再編が必要と思うが市の考えは。

(2) バラバラのゴミ収集方式を統一する考えは。

(3) JR奈良線「上粕駅」「棚倉駅」の駅舎を含めたバリアフリー化を促進する考えは。

(4) 過疎地域の対策について
 国が加茂地区を過疎地域に指定されたが、地域の活性化についてどのように考えているのか。

(5) 山城町に商業施設用地を計画する考えは。（買い物難民についての対策）

質問事項： 防災・減災対策は万全か

質
問
要
旨

6月～10月は梅雨シーズン、集中豪雨、台風の季節であり、「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。過去、山城町地域では、昭和28年8月に南山城水害に見舞われ70年が経過しました。

あの南山城水害で山城地域では5か所の天井川（渋川・天神川・不動川・鳴子川・谷川）が決壊。死者31名、流出家屋21戸、全壊家屋37戸と多くの人命と財産が一瞬のうちに奪われました。

その原因は、上流山腹の崩壊による土石流と流木によるものです。

そこで南山城水害の教訓と近年のゲリラ豪雨等を踏まえ、お尋ねします。

- (1) 一級河川木津川の堤防強化工事や河川雑木整理について。
国へ要請すべきと思うが市長の考えは。
- (2) 京都府管理河川（天井川）の老朽化した堤防補強工事は完了したのか。
- (3) 土砂災害に備え、毎年ため池、急傾斜地、樋門等の点検をされているが安全か。また今年の防災パトロールの結果と対策について、市長の考えは。
- (4) 住民に対する防災意識の啓発は進んでいるか。
- (5) 鳴子川上流での大型太陽光発電所（メガソーラー）の計画がされているが現在の状況は。
- (6) 市民の安心安全を守るため、防災行政無線（屋外拡声子局）による市民に対しての情報伝達等は、その後改善され万全か。
- (7) 山城町域に設置されている室内戸別防災無線を更新していく考えは。

令和5年第2回木津川市議会定例会（6月13日）

代表質問通告書

1 日本共産党木津川市議員団 宮嶋 良造	
質問事項：子育て支援3つのゼロの実現と、どの子ども健やかに成長できる教育条件整備を	
質問 要 旨	<p>1 日本国憲法（第26条）と子どもの権利条約を生かす具体化として、①18歳（高校卒業）まで医療費をゼロに、②学校給食費をゼロに、③子ども（18歳まで）の国保税（均等割）をゼロにすべきではないですか。</p> <p>2 市と市教育委員会が取り組むべき課題として、①体育館・講堂の断熱性確保工事を行い、空調設備を設置すべきではないですか。②超マンモス校である城山台小学校は直ちに分離し、新設校を建てるべきではないですか。③学校の在り方として、拙速な学校の統廃合はすべきではありません。加茂と山城地域において、直ちに地域と保護者のみなさんと話し合いの場をつくるべきではないですか。</p>
質問事項：環境を守り、安心して暮らせるまちに	
質問 要 旨	<p>1 ごみ有料袋は一旦中止して、循環型社会推進基金を活用し、ごみ減量を進めてはどうですか。</p> <p>2 2050年までに、気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言の具体化をどう進めますか。</p> <p>3 市長選挙で「市民のいのちと財産を守るため、新消防庁舎の建設を着実に進め、大規模災害への対策を強化します」と公約されましたが、市民から出されている新消防庁舎建設に関する疑問や不安にどう答えていきますか。</p> <p>4 国民・市民の多くがマイナンバーカードの活用拡大に不安を感じています。国民健康保険証は廃止すべきではないと考えますが、いかがですか。マイナンバーカードを持たない市民に不利益がおこらないようにすべきではないですか。</p>
質問事項：地域循環型経済をつくり、市民の暮らしと営業を守るために	
質問 要 旨	<p>1 市内業者の仕事おこしと住宅の耐震化・バリアフリー化のために住宅リフォーム助成をつくってはどうか。</p> <p>2 市民の自由な移動を確保するために福祉施策として、①コミュニティバスの運賃は100円に、高齢者・障がい者は無料に、②減便・廃止された鉄道・バス路線の回復を事業者に求め、③コミバスをもっと便利にすべきではないですか。</p>
質問事項：市民のいのち、平和を守る木津川市に	
質問 要 旨	<p>1 6月26日に木津川市を訪れる国民平和大行進を市長自らが出迎え、激励してはどうですか。また、非核平和都市宣言の記念碑を市役所または市役所南公園につくってはどうか。</p> <p>2 平和首長会議国内加盟都市会議総会への出席など、市民のいのちと平和を守るまちとして平和首長会議の取組みを市はもっと具体化すべきではないですか。</p> <p>3 自衛隊への18歳・22歳をむかえる名簿提出はやめるべきではないですか。</p> <p>4 市民の多様性を認め、市民の権利を守るために、直ちにファミリーシップ条例を制定すべきではないですか。</p> <p>5 自治基本条例、住民投票条例を制定し、市民参加の市政をさらに進めるべきではないですか。</p>

2 公明党 大角 久典	
質問事項： 所信表明を問う	
質問要旨	<p>谷口市長は、この度の選挙において一貫して「子どもや若者が将来に向けて希望を持てるまちづくり」、「すべての方が住み慣れた地域で暮らせるまちづくり」という2つのビジョンを訴えていました。私ども公明党としても共感する点もあり、以下について具体的にお聞きします。</p> <p>(1) 【すべての世代が安心して健やかに暮らせるまちづくり】の基本方針の中で令和3年4月に「クールチョイス」宣言、令和4年3月に「気候非常事態・ゼロカーボンシティ宣言」を策定し、脱炭素社会の実現に向けてどのように進めていくのか。</p> <p>① 市民や事業者の参加の考えは。</p> <p>② 循環型社会推進基金の活用方法拡大の考えは。</p> <p>③ ごみ減量化や食品ロス削減の取り組みの考えは。</p> <p>(2) 【災害に強い安全なまちづくり】の基本方針で地域の防災リーダーの育成について</p> <p>① 防災リーダー育成の進め方は。</p> <p>② 市独自の防災フェスタの取り組みの考えは。</p> <p>③ 災害備蓄品の充実する考えは。</p> <p>(3) 【持続可能な財政基盤の確保】の基本方針で自主財源の確保が重要とされている点で特にふるさと納税の取り組みの強化について</p> <p>① ふるさと納税の現状に対する考えは。</p> <p>② 特に力を入れたい施策は。</p> <p>(4) 【住み続けたいと思える活力あるまちづくり】の基本方針で他自治体で行っている若者会議の取り組みを参考に若者の意見を反映させる仕組みの構築について</p> <p>① 具体的な取り組みは。</p>

3 改革木津川 玉川 実二	
質問事項： 重点プロジェクトについての基本方針を問う	
質問要旨	<p>1つ目は、少子化対策及び人口減少問題についてお尋ねいたします。</p> <p>政府の研究機関、国立社会保障・人口問題研究所によりますと、約30年後の2056年頃には、人口は1億人を割り込み、そして約50年後の2070年には、8700万人。更には、約100年後の2120年には、5000万人を割り込むとの推計が発表されています。</p> <p>このような推計の中、政府は「異次元の少子化対策」を検討しておりますが、現時点の案に対し、あるアンケート調査によりますと80%以上がネガティブ（期待しない）との回答であります。</p> <p>市においても『まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」と「第2期総合戦略」』において、合計特殊出生率や人口数などの目標を掲げていますが、下記の項目について、市のリーダーとしてのご答弁をお願いいたします。</p> <p>(1) 少子化対策に対する基本的な考え方について</p> <p>(2) 具体的な政策（解決策）について</p> <p>(3) 合計特殊出生率1.8及び人口置換基準達成に向けたロードマップについて</p> <p>2つ目は、教育改革についてお尋ねいたします。</p> <p>2020年3月に文部科学省から公示された学習指導要領は「生きる力」を育むという理念を実現するために改定されました。</p> <p>これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現して欲しい。そして明るい未来を、ともに創っていききたい。そうした願いがこめられています。</p> <p>これからの社会を担う子どもたちの教育改革について、子どもたちを中心に据え、どのような教育を推進すべきなのか、小中一貫教育や、また義務教育学校などの組織論、そして具体的な施策である学校選択制などについてのお考えをお伺いします。</p>

質問要旨	<p>1 問目の最後として、DXプロジェクトについてお尋ねいたします。</p> <p>DXやICTを導入する目的には、ワークロード削減（コスト削減）や歳入のトップラインを上げ、重要なプロジェクトに投資する財源を作るなどが考えられ、また加えて福祉的な観点から市民サービスの向上などを図ることが求められます。</p> <p>デジタル技術の活用は、先に述べました少子化対策や教育改革の一翼を担うものでもあり、重要なイニシアティブです。</p> <p>今後どのようなコンセプトで当プロジェクトを推進されるのか、基本的なお考えをお伺いいたします。</p>
質問事項：市の経営について	
質問要旨	<p>地域の「稼ぐ力」や「地域価値」を高め、魅力あるしごと・雇用機会を創出するまちづくりを推進し、民間投資の喚起などにつなげること、いわゆる「地方創生」及び「地方自治体の自立化」が今後ますます重要になると考えます。</p> <p>まずは、市の経営に際し、財政力（及び経営力）指標について、どのように計画されているのかお伺いいたします。</p> <p>また、「稼ぐ自治体」を推進するに際し、民間企業、NPOや近隣・広域の自治体などと協業することは、大変有効な手段であると考えますが、これらの団体との今後の事業推進についてお考えをお伺いいたします。</p>